

教員についての基本情報

教員名	増澤 拓也 准教授 (MASUZAWA Takuya)
担当教科と分野	保健体育
研究分野	スポーツ心理学 (運動学習)・野外教育
担当授業	スポーツ心理学, 野外教育演習, 体育 (水泳) など
授業についての一言	スポーツ心理学では, 運動学習領域の基礎理論を概観し, 学習実験を通して実験計画の作成手順, データ分析, 統計手法を学習します。野外教育演習では, 学校現場で行われる野外実習を想定し, プログラム作成から実習先の選定, 食材の手配, など全て自分達で決めて, 離島や本島北部など沖縄の自然を体感しながら活動を行います。
研究室連絡先	masuzawa@edu.u-ryukyu.ac.jp



研究の内容

研究室では新奇な技能の学習過程に関する研究, もしくは, 野外活動に関する研究を行っています。運動学習領域では, 自身の専門スポーツを題材として, より高度な技能獲得を目指して研究を進めることもあれば, 初心者が陥りやすい問題に目を向け, より効果的な練習方法の考案を目的とした研究を行っています。また, 野外スポーツ (スキー, クライミング, マウンテンバイク, SUP など) の研究, キャンプや野外炊飯, 火起こしや登山などの野外活動に関する研究, 体験学習などの野外で行われることの多い教育活動に関する研究も行われています。

これまでに研究室で取り組まれた卒業研究の内容

以下は卒業研究の一例です。運動制御に重要な内部基準を獲得するため特に, 感覚・知覚に刺激を与え巧みな技能の獲得を目指した研究が多く見られます。

- ・Wii Fit を用いたバランストレーニングによるスラックラインのバランス技能獲得促進効果
- ・VR を用いた視るトレーニングによるバレーボールのスパイクレシーブ正確性向上効果
- ・異なる3つの重さのバットおよび軽量メディシンボールを組合わせたトレーニングによる打撃パフォーマンス向上効果
- ・Instagramを活用したセルフモニタリングが女子大生の身体や行動に及ぼす影響
- ・バレーボールにおけるハイセット時のスパイクパフォーマンス向上のためのコース選択知覚トレーニング
- ・嗅覚刺激と成功イメージの条件付けによる重心動揺安定性促進効果
- ・バレーボールにおける予測トレーニングがレセプションパフォーマンスに与える効果 など

研究のキーワード

予測, 知覚, 認知トレーニング, 注意, フィードバック, フィードフォワード, 重心動揺, バランス制御, 条件付け, 仮想空間, Eスポーツ, 技能獲得, 運動学習, 野外教育, 登山, 火起こし, キャンプ, 登山, クライミング, ボルダリング, マウンテンバイキング, など。